

財務諸表に対する注記（どりーむはうす拠点区分）

別紙2

1. 重要な会計方針

（1）固定資産の減価償却の方法

建物 定額法

車両運搬具 定額法

器具及び備品 定額法

（2）賞与引当金の計上基準

翌期に支給する賞与のうち、支給対象期間が当期に帰属する支給見込額を引当金として計上する。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の会計処理によっており、掛金額をもって費用処理している。

4. 拠点が作成する財務諸表等とサービス区分

当拠点区分において作成する財務諸表等は以下のとおりになっている。

(1) どりーむはうす拠点財務諸表（第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）

(2) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3）はサービス区分が1つであるため省略している。

(3) 拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3）はサービス区分が1つであるため省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	31,496,180	0	1,336,877	30,159,303
合計	31,496,180	0	1,336,877	30,159,303

6. 会計基準第3章第4（4）及び（6）の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	31,830,400	1,671,097	30,159,303
車両運搬具	6,111,115	6,111,112	3

器具及び備品	255,000	104,901	150,099
合 計	38,196,515	7,887,110	30,309,405

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債 権 額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし	0	0	0
合 計	0	0	0

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合 計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし